



確定 新潟競馬 小倉 札幌

TV朝宴会

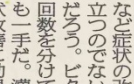
報ステ「スタップ」いた

# 在宅特効薬

# 海外治療で高い改善率

東京都の新型コロナウイルス感染症による重症者は過去最多の218人となり、都のモニタリング会議は「制御不能で災害レベルの非常事態と指摘した。自宅療養者も2万人を突破。政府分科会の尾身茂会長は「放っておく」と、自宅での不幸な出来事がどんどん増えたと警告する。菅義偉首相肝心の「抗体カクテル療法」などの治療薬は自宅療養でも使えるのか。そして一部で期待されている「イベルメクチン」は有効なのか。〔4面に関連記事〕

都のモニタリング会議に参加した東京都医師会の猪口正孝副会長は「自宅療養で考えられる方法を尽くしているが、入院とは手厚さが違い、手が届かない」との見解を示した。多くの感染者が自宅療養を余儀なくされるなかで、どんな薬に頼ることができるのか。



尾身茂会長

重症化を防ぐ治療薬として7月19日に特例承認されたのが、中外製薬の抗体治療薬「ロナプリーブ（カシリヒマブ・イムデヒマブ）」だ。2種類の抗体医薬品を点滴で投与する抗体カクテル療法で、菅首相は「50代以上や基礎疾患のある方に積極的に投与し、在宅患者も含めた取り組みを進める」と述べた。

ただ、厚生労働省は抗体カクテル療法については「市販薬で治療するのは難しいが、発熱やせきなど症状の改善には役に立つのではない」としている。ビタミンなどを回数分けて摂取するのも一手だ。漢方薬にも症状改善に効果的なものもあり、一部は治療も開始されている。また、素人判断はせずに保健所や医療機関と相談してほしいとアドバイスした。

## 海外治療で高い改善率



①南アフリカで見受けられる「イベルメクチン」のパッケージと容器（AP） ②特例承認された抗体カクテル療法の医薬品（中外製薬提供）

が24時間以内に起こりリスクもある。在宅でお願いしたいわけにもいかないとして、基本的入院の必要があるとの見方を示している。ほかにはエボラ出血熱の治療薬で7月12日から保険適用が認められた「ベクルー（レムデシビル）」（点滴薬）や、重症感染症や間質性肺炎用の「デカドロン（デキサメタゾン）」（ステロイド薬）、関節リウマチ用の「オルミエン（パリスチニブ）」（経口）は「経口ではない」と指摘する。

## 厚労省「現在は特例承認の対象とならない」

「軽症」と診断された場合でも「人生で一番苦しかった」という患者に貢献した抗寄生虫薬「イベルメクチン」だ。錠剤で、腸管線虫症や北里大病院などが治療

中だ。同自治体と調整しており、各自自治体と調整中だ。過去にも抗体医薬品で注射をする過剰反応

を元にも日本でも特例承認が検討されたものではなかったと話す。

未承認の治療薬をめぐって論争になっているが、ノーベル医学・生理



東京・銀座を歩く人たち。感染者は増え続けている



この香り、衝撃

「現在は医師が適応外使用という形で患者の理解を得つつ使用することは可能だ。日本と同じような薬事審査の水準を持つ国での承認がない限り、特例承認の制度の対象にはならない」との見解を示した。

《都内最大級》の 広さとゆとり

パチンコ・スロット

楽園

立川店

新型コロナウイルス対策として入店時のマスク着用・手洗い・換気をお勧めしております